(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　XP+トラスツズマブ　療法　1サイクル 3 週

疾患名　治癒切除不能な進行・再発の胃がん

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	500 ml	点滴	2時間	●																											
注射	2	トラスツズマブ≪初回≫	8 mg/kg	点滴	※1時間30分	●																											
		生理食塩液	250 ml	注射用水で溶解																													
		トラスツズマブ≪2回目以降≫	6 mg/kg	点滴	※30分																												
		生理食塩液	250 ml	注射用水で溶解																													
注射	3	生理食塩液	500 ml	点滴	2時間	●																											
注射	4	グラニセトロン	3 mg	点滴	30分	●																											
		デキサート	9.9 mg																														
注射	5	シスプラチン	80 mg/㎡	点滴	2時間	●																											
		生理食塩液	500 ml	全量500mlに調製																													
注射	6	フロセミド	10 mg	静注(側管)		●																											
注射	7	ソリューゲンF	500 ml	点滴	2時間	●																											
注射	8	ソリューゲンF	500 ml	点滴	2時間	●																											
内服	1	ゼローダ	2000 mg/㎡	1日2回朝夕食後※※		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
内服	2	イメンド	125 mg	抗癌剤の1時間-1時間半前		●																											
内服	3	イメンド	80 mg	1日1回朝食後			●	●																									
内服	4	デカドロン	8 mg	1日(-2)回朝(昼)食後			●	●	●																								
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
内服	8																																
内服	9																																
内服	10																																
放射線			Gy																														

特記事項

※トラスツズマブは初回90分以上かけて投与、忍容性が良好ならば2回目以降30分で投与可。※※day1夕食後からday15朝食後に服用
トラスツズマブを2週間休薬した場合、初回投与量の8mg/Kgを投与。一旦減量した後はカペシタビン、シスプラチンともに増量しないこと。

ゼローダ減量基準	1日投与量		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.36㎡未満	2400mg/日	1800mg/日	1200mg/日
1.36㎡以上1.41㎡未満	3000mg/日		
1.41㎡以上1.51㎡未満		2400mg/日	
1.51㎡以上1.66㎡未満			1800mg/日
1.66㎡以上1.81㎡未満	3600mg/日		
1.81㎡以上1.96㎡未満		3000mg/日	
1.96㎡以上2.11㎡未満	4200mg/日		
2.11㎡以上			2400mg/日

減量規定

薬品名	ゼローダ	シスプラチン		トラスツズマブ(2回目以降)	
標準投与量	上記参照	60≦CCr	80 mg/㎡	6 mg/kg	
1段階減量		51≦CCr≦59	60 mg/㎡	減量なし	
2段階減量		41≦CCr≦50	40 mg/㎡		
3段階減量	中止(CCr≦30)	CCr≦40	中止		